

<PatchBuilder の動作環境について>

OS 環境 : Microsoft Windows 10
対応環境 (必須) : .NET Framework 4.6

<ソフトウェアの目的と使い方>

- ・ 本ソフトウェアは、画像ファイル (BITMAP,PNG,JPEG,TIFF)を複数枚のパッチ画像に分割、または、パッチ画像から画像を合成するためのソフトウェアです。
- ・ 各ユーザが本ソフトウェアの動作をよく確認してください。商用を目的とした製品のパフォーマンステストやベンチマークテストなどの業務での利用はおすすめしません。

(1)「画像→パッチ画像」タブについて

- ・ 入力画像を分割し、出力フォルダにパッチ画像を生成します。指定する出力フォルダ内には、出力画像ファイルのほかに、テキスト形式のログファイルと、各出力画像の切り出し位置を表す構造ファイル (structure ファイル) が出力されます。
- ・ 出力されるパッチ画像の画像サイズは「設定」において変更することができます (図1)。このソフトウェアは 1024x1024 ピクセル程度の入力画像から、32x32 ピクセル程度のパッチ画像に分割することを想定して、作成されています。出力される画像ファイルの数が数万を超える場合や、出力画像が小さくなる場合には「エラー」となる場合があります。
- ・ 複数の入力画像をまとめてドラッグアンドドロップすることにより、パッチ画像を一括生成することができます。
- ・ 指定したフォルダに出力されるパッチ画像のファイル名は、入力画像のファイル名につづき、4 桁の通し番号を付したファイル名となります (図2)。

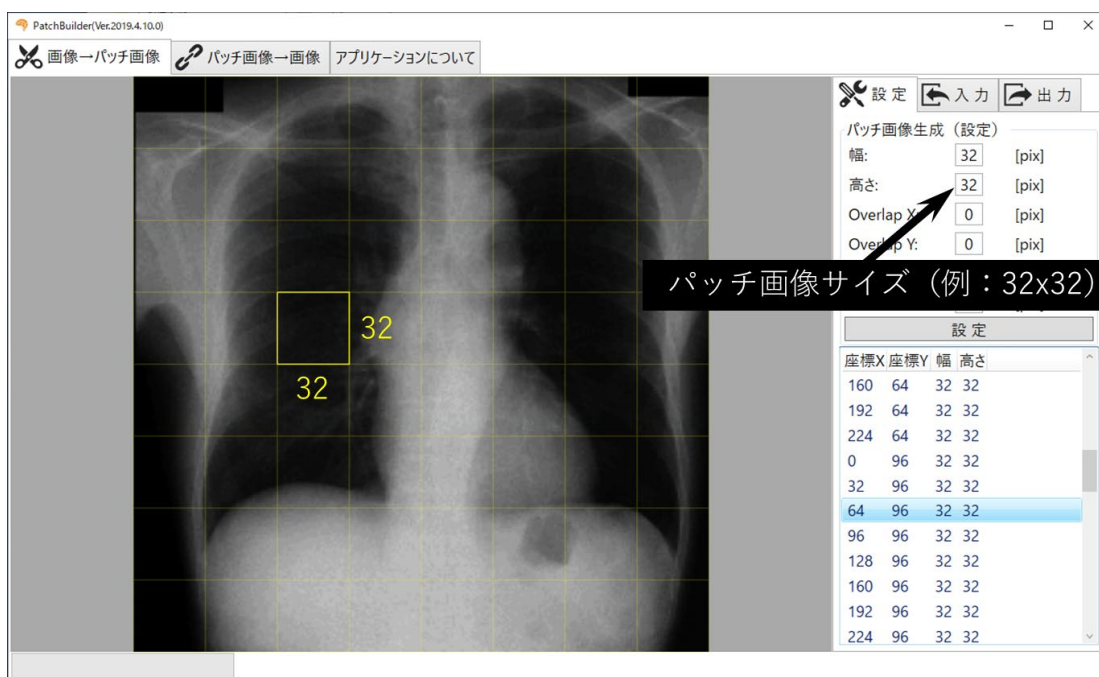


図1 パッチ画像サイズの設定

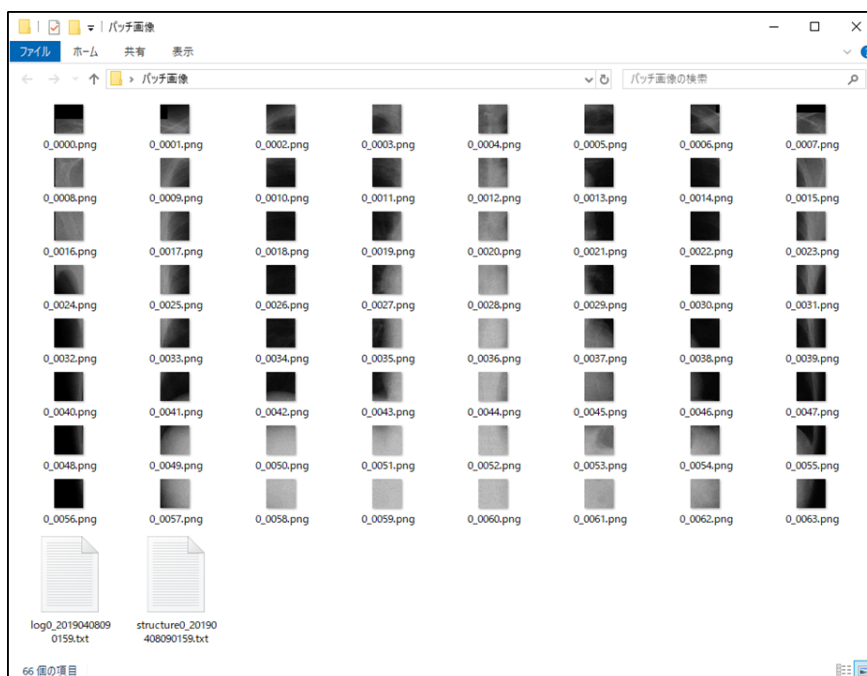


図2 出力フォルダ内のパッチ画像・ログファイル・構造ファイル

(2)「パッチ画像→画像」タブについて

- ・ 本ソフトウェアにより分割した複数枚のパッチ画像から、1枚の合成画像を生成することができます。画像合成の際には入力ファイルとして structure ファイルを指定します。

<免 責>

本ソフトウェアの瑕疵、動作に係る不具合、本ソフトウェアがコンピュータに与える影響または本ソフトウェアを正常に利用できないことにより被る不利益、データ消失の不利益、その他一切の不利益について一切その責任を負いません。

<ソフトウェアの著作権について>

商用目的、頒布目的でのご使用にあたっては、オーム社の書籍「医療 AI とディープラーニングシリーズ 標準医用画像のためのディープラーニング: 入門編 (医療 AI とディープラーニングシリーズ)」の著者までご連絡ください。なお、ソフトウェアの全部または一部を無断で改変することはできません。